



KONICA MINOLTA

お客様の頼れるパートナー コニカミノルタのIT管理サービス

IT-Guardians[®]

UTMサービス

起こってからでは遅いセキュリティ対策!! 機密情報や個人情報の漏えいした場合に企業が被る被害とは

損害賠償費

情報漏えいによって「損害賠償費用」が発生する可能性が。
1件当たりの想定損害賠償額が6億3,767万円になると算出された調査結果もあります。

機会損失と信頼失墜

情報漏えい事故により、被害拡大防止や業務を停止が必要になる可能性があります。さらに、社会的信用と取引先からの信用が失墜するために顧客離れが進むリスクもあります。

法的制裁

2017年の改正個人情報保護法により、個人情報保護委員会の監督に従わず、適切に対応しない場合には、「6ヶ月以下の懲役または30万円以下の罰金」という罰則が適用されることがあります。

漏えい人数	561万3,797人
インシデント件数	443件
想定損害賠償総額	2,684億5,743万円
一件あたりの漏えい人数	1万3,334人
一件あたり平均想定損害賠償額	6億3,767万円
一人あたり平均想定損害賠償額	2万9,768円

JINSA発表の『2018年 情報セキュリティインシデントに関する調査報告書』より引用



今年、特に注意が必要なセキュリティリスク



リスク1

Windows7の 継続利用

Windows 7は2020年1月14日でサポートが終了しました。
Windows 7でセキュリティ上の脆弱性に対する問題修正のパッチ提供がされなくなるため、様々なサイバー攻撃への対応が難しくなります。

**Windows10 への
移行を強く推奨**



リスク2

世界的なイベントがあると 攻撃が増加

サイバー攻撃は、オリンピックやサッカーワールドカップ等の世界的に注目度のあるイベントを実施すると、顕著に増加する傾向があります。
今年、東京でオリンピックが行われる日本は非常に危険な状況になります。

様々なサイバーセキュリティ対策の検討が必要



リスク3

サプライチェーンへの 攻撃が増加

近年、サプライチェーンを狙ったサイバー攻撃が増加しています。
セキュリティ対策が強固な会社では無く、対策が弱い関連会社を経由して情報を盗む手口です。自身の会社から、取引先の情報を盗まれたら…

様々なサイバーセキュリティ対策の検討が必要な中で、 まずは、社内ネットワークの入口を守りませんか。

社内ネットワークを守るには『UTM (Unified Threat Management)』がお勧めです。

Webフィルタリングや不正侵入検知機能を一つのハードにまとめた端末です。

社内ネットワークとインターネットの境界に設置することで、社内にあるパソコンや複合機が攻撃されることを防ぎます。



設置していても、古くなっていませんか？
故障リスクも高くなってくるので、5年たっていれば入れ替えをお勧めします。



コニカミノルタジャパンでは、多彩なラインナップのUTMサービスをご用意しております。
お客様の環境に合わせたご提案をさせていただきます。

複数の外部攻撃手法に対して1台で対処！

UTMは、社内ネットワークをマンション、各戸をPCとすると、オートロック付きマンションに例えられます。



さらに

テレワークやスマートフォンの普及に伴い、ネットワークの入口だけの対策では十分では無くなってきています。



テレワークで社外のネットワークにPCをつないで仕事をしていませんか。UTMで守られた社内ネットワークでは無いので、常に危険にさらされた状態です。



複合機にも、ウイルス感染したUSBメモリ経由の印刷や、ウイルス感染したデータが送付されてくる可能性があります。

社外でのテレワーク時のウィルス感染対策に

サービス名	価格
IT-Guardiansアンチウィルスサービス	1,500円/月～

※3ライセンスからとなります。※別途初期費用が必要になります。

複合機へのウィルス感染対策に

サービス名	価格
LK-116	42,000円

本カタログに記載された内容は事前の予告なく変更させていただく必要があります。

本紙記載の価格・料金には別途消費税がかかります。

※KONICA MINOLTAおよびKONICA MINOLTAロゴは、日本およびその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の商標です。

※その他の会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

発売元

コニカミノルタ ジャパン株式会社

〒105-0023 東京都港区芝浦 1-1-1 浜松町ビルディング

<http://konicaminolta.jp/pr/itg>

お問い合わせは当社まで